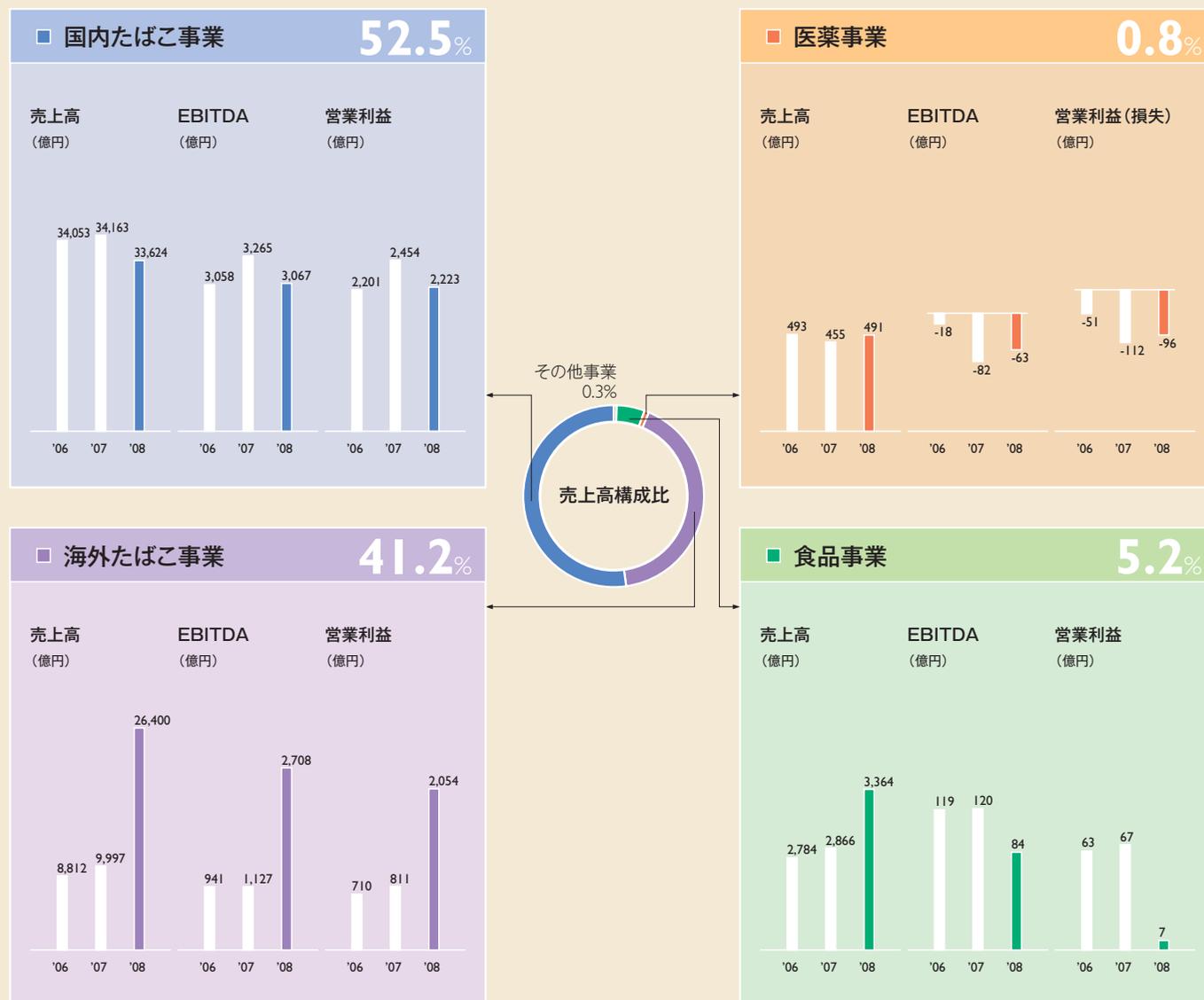


JTは世界で約47,500人の従業員とともに「価値創造ビジネスを多角的に展開するグローバル成長企業」を目指しています。世界第3位のたばこ事業は、母国市場である日本で圧倒的な競争力を維持しつつ、海外たばこ事業が成長を牽引しています。

次代の柱である医薬事業では有望な新薬候補の臨床開発を着実に推進し、食品事業は総合食品メーカーとしての基盤の充実を図っています。



## JTグループとたばこ業界における競合状況



### JTグループ本社

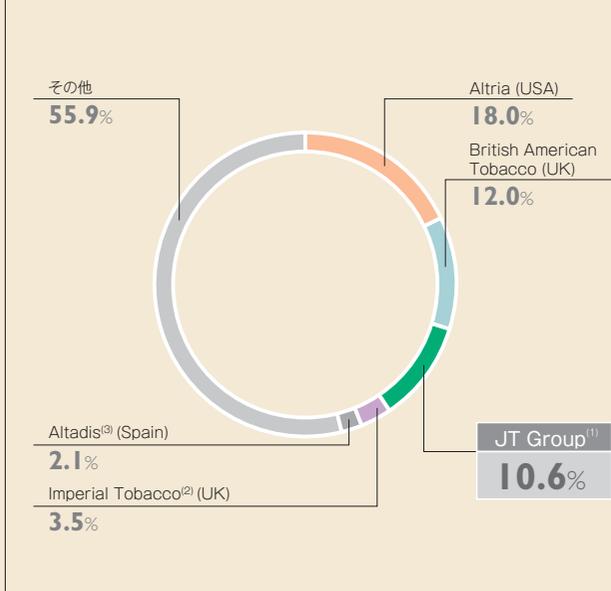
[Tokyo]

- 国内たばこ事業
- 医薬事業  
鳥居薬品(医薬品の製造、販売)
- 食品事業  
株式会社加ト吉(加工食品の製造及び販売)  
株式会社ジャパンビバレッジ(飲料の流通及び販売)

[Geneva]

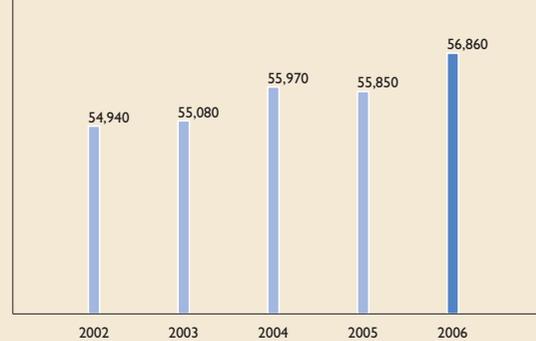
- 海外たばこ事業  
JT International S.A.  
(海外たばこ事業における製造、販売を統括)

### 主要たばこ会社の世界シェア(2007年)



出典:各社事業報告書, The Maxwell Report  
(1): 2008年3月期実績 (2): 2007年9月期実績 (3): 2006年12月期実績

### 世界のたばこ需要(各12月31日現在) (億本)



出典: The Maxwell Report

### 世界のたばこ販売数量トップ5ブランド (2006年)

ブランド	ブランド所有者	世界合計 (億本)
1. Marlboro	Altria	4,663
2. Winston	合計 <sup>(*)</sup>	1,080
	JT	946
	Reynolds American	133
3. Mild Seven	JT	1,061
4. L&M	Altria	1,049
5. Camel	合計 <sup>(*)</sup>	607
	JT	361
	Reynolds American	247

出典: The Maxwell Report

※ 米国内の販売数量はReynolds Americanに、米国外の販売数量は当社にそれぞれ帰属します。